

小さな子どものためのおさんぽ会

あきる野ふるさと工房から、路地を下って秋川の川原まで歩きます。開けた川原でゆっくり過ごし、色づき始めた山の景色を楽しみながら、清流に触れて、秋川上流の自然に親しみましょう。

- 日時 10月24日(日) 午前10時～正午
- 場所 あきる野ふるさと工房(乙津671)
- 対象 市内在住の子どもとその保護者(未就学児向け)
- 定員 10組(申込み多数の場合は抽選)
- 持ち物など 飲み物、おやつ、レジャーシート(おやつ休憩の際に使用します)、雨具、長袖、長ズボン、帽子、歩きやすい靴、濡れた場合の着替え
- 費用 1人50円(保険代含む)
- ※雨天の場合は、内容を変更して開催します。
- ※詳しくは、市ホームページをご覧ください(ホームページのサイト内検索で「おさんぽ」と入力)。
- その他 市ホームページに掲載している「感染症対策についてのお願ひ」の注意事項を守り、参加してください。
- 申込み方法 10月13日(水)までに市ホームページの電子申請か電話で申し込んでください。
- ※スマートフォンから電子申請される方は、次のコードからアクセスしてください。
- 企画・運営 あきる野市環境委員会 森のようちえん部会
- 申込み・問合せ 環境政策課環境政策係 ☎595-1110



申請コード



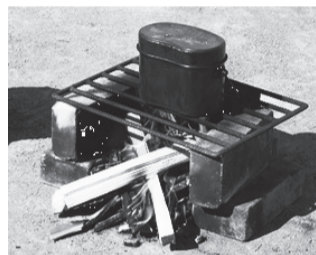
会計年度任用職員(給食調理員)募集



- ▽募集職種 給食調理員(資格不要)
- ▽採用期間 採用日から令和4年3月31日まで(希望者は継続あり)
- ▽勤務日時 月曜日から金曜日までの2日か3日(隔日勤務) 午前8時から午後4時まで
- ▽勤務内容 調理、食器洗浄の補助作業など
- ▽報酬単価 時給1056円
- ▽募集人数 若干名
- ▽申込み方法 秋川学校給食センターか五日市学校給食センターに連絡の上、会計年度任用職員採用申込書を直接お持ちください。
- ▽問合せ 秋川学校給食センター係(直通558・1123)、五日市学校給食センター係(直通595・0817)

※学校給食のある期間のみ
▽勤務場所 秋川学校給食センター(草花2892)、五日市学校給食センター(五日市319)

森のようちえんクラブ「初めての飯ごう炊き」



- ▽日時 10月31日(日) 午前10時～午後3時
- ▽場所 小宮ふるさと自然体験学校
- ▽対象 市内在住の小学校1年生から3年生まで
- ▽定員 10人(抽選)
- ▽費用 無料
- ▽締切り 10月10日(日) 午後5時まで
- ▽申込み方法 ①か②の方法で申し込んでください。
- ①電子申請:コードを読み込み、必要事項を入力して申請してください。
- ②参加申込書:小宮ふるさと自然体験学校に電話で申し込んでください。
- ▽チラシ兼申込書配置場所 小宮ふるさと自然体験学校、環境政策課(五日市出張所)

申請コード



生活環境課、中央図書館、東部図書館エル、五日市図書館 ※市ホームページからもダウンロードできます。

▽申込み・問合せ 電話申込み・体験に関する問合せ:小宮ふるさと自然体験学校 ☎596・0414 午前9時～午後5時、月曜日を除く

生ごみ堆肥化講習会の開催



- ▽講師 廃棄物減量等推進員
- ▽対象 市内在住の20歳以上の方
- ▽定員 10人(申込み順)
- ▽その他 講習会終了後、ダンボール方式コンポストの材料キット(みかん箱程度の大きさ)をお渡しします(年度ごとに1世帯1個)。EM菌生ごみ処理容器貸与希望の方は、はんこをお持ちください。
- ▽申込み方法 電話で申し込んでください。
- ▽問合せ 生活環境課清掃・リサイクル係

森林レンジャーがゆく(111)

ヒメハサミツノカメムシ



一般には、カメムシは臭いと嫌われています。外敵に襲われるなどの刺激を受けると、強烈な匂いを出し、冬には屋内に大量に侵入することもあるため、屋内では不快害虫として扱われます。この匂いは外敵に対する攻撃であるとともに、周りのカメムシに危険を知らせる信号でもあり、この匂いで周りのカメムシも逃げ出します。しかし、弱い匂いは集合を促す信号となり、越冬に際して沢山のカメムシが集まってくる要因とされています。また、農作物の吸汁もあり、特に果樹などの農作物害虫として扱われることが一般的ですが、サシガメの仲間などは肉食で、アブラムシの天敵として益虫扱われています。

日本にはカメムシの仲間が180種以上生息しており、一部が害虫として扱われますが、多くは人と関わりを持たずに生活しています。一方で形や色、姿にバリエーションがあり、きれいな模様を持つものも多いため、収集する昆虫マニアも多数存在します。

ここで紹介するのは、変わった姿の「ヒメハサミツノカメムシ」です。写真のように肩の部分にツノ状の突起があり、オスはおしりにハサミムシのようなハサミを持っています。また、名前の頭のヒメは「ハサミツノカメムシ」より小型であることを意味しています。特徴をそのまま並列に並べたような名前は、つくづく安易な命名だと思えます。このような安易な名前を持つ生物は、あまり人間とかかわりを持たずに林野で人知れずに生息している種だと思っています。

ヒメハサミツノカメムシのハサミは飾りではなく、交尾の際にメスの体を挟み込み、体を固定させるために使うそうです。しかし、肩のトゲの使い道は分かりません。このように色々な装備を備えたカメムシですが、その匂いは試さなかったため全く分かりません。もしかしたら強烈だったかもしれません。



ヒメハサミツノカメムシ

このカメムシはサワシバやクマシデなどのシデ科の高木の樹冠を主な生息場所にして、あまり人目に触れることはないようで、この写真を撮った時以来、目にしていません。次回、再会した時は、ぜひどのような匂いを出すか試してみたいと思っています。(杉野)

森林レンジャーあきる野 市が取り組んでいる「郷土の恵みの森づくり」を進める専門集団。尾根道の補修や景観整備事業等の調査、計画立案等を地域と協働で実施。市内で生息する動植物の調査や、滝・巨木など、地域資源の掘り起こしも行っている。

問合せ 環境政策課環境の森推進係

地震に強い住まいづくりのためのお役立ち情報



- 建物所有者向け
- 改修事業者向け
- ▽問合せ 都市計画課住宅係